

豊中市東丘公民分館

公民館だより

館長 幸博彦 幸子世
発行委員 治 英政 洋 婆
編集 東丘分館
担当 本原好本 島日
当 阪延西三岡城

発行部数 3,800部

ふと思っ

豊中市立第八中学校
教頭 河 辺 久 夫

非行の低年化、十代の問題行動が、各界で大きく取り上げられ、対策が論じられているが、子供達は一体どうなんだろう。風邪を引いてはとかまわれ、怪我をしてはと、障害物は取り除かれ、しんどかろうと車に乗せられる。この過保護の風潮の中で子供は抵抗力を弱め、とっさに身をかかわす本能的反射機能の発達を促す機会を奪われ、苦しい事に耐える精神力の養成が出来にくい状態におかれているのではないだろうか。一方お金さえあれば欲しいものは何んでも簡単に手に入る世の中、これでは子供達が人間として成長する色々な意味での訓練の機会を奪われ、一寸した切掛で暴走せざるを得ない状態におかれているのではないだろうか。子供にこれと要求注意する前に、大人自身が反省する時機にきているのではないだろうか。大人のエゴ、身内のエゴが子供を毒しているのではないだろうか。附近に人家のない深夜の国道筋に、酒・ビールの自販機が必要なのだろうか。自勢力をつけさせないで「これは大人のためのものだ」は勝手すぎとは写らないだろうか。

ここまで来て、ふと思っ出すことがある。小学生をもつと云う母親が、下校途中、公園にたむろしてタバコをすっている、学校ではどんな指導をしているのかと詰問されたことがあります。ある朝出勤途中でそのお母さんが自転車の前後に二人の子供を乗せて、どうやら幼稚園まで送って行かれるのに出会いました。子供達は、大人は身勝手だと見るのではないのでしょうか。

大人社会こそ見直して見る必要があるのではないだろうか。ふとこんな事を考えることがある。

「社協を理解して
いただくために」

東丘校区社会福祉協議会

会長 辻 村 明 峻

私たちの住んでいる新千里東町に、社会福祉協議会が結成されてより、今年で六年目になります。そして、今年も去る五月二十八日には、東丘小学校で移動採血車による「献血運動」を実施いたしました。その際には、八十五人もの皆様から、善意による愛の献血を提供していただきました。まことに有難うございました。紙上をお借りして、あつくお礼を申し上げます。このように、社会福祉協議会は地域のボランティア活動によって、住民相互の助け合いを深め、きめ細か

い地域ぐるみの奉仕活動により、よりよき近隣社会をつくり、「福祉の充実した街づくり」を目指しています。

今年の主な事業として、「敬老の集い」のほか、共同募金、ねたきり老人友愛訪問、独居老人への給食、子どもたちのいも掘り行事などがあげられます。これらの行事は、いずれも地区民生児童委員会、公民分館、PTAなどの団体と協調して実施されますが、地区住民の皆様の理解と協力が必要なことは、今更申し上げる迄もないと存じます。どうか積極的なご支援をお願い申し上げます。

バドミントン

仲 平 郁 代

子供が入学と同時に私も何かスポーツをしたいと思っ、気軽に入ったのが東丘小PTAバドミントンクラブでした。

学生時代より筆以外重いものを持った事のない私も、バドミントンのラケットなら持ち上げれるだろうという安易な気持ちからです。

ところがどうして、ネットの向うまでシャトルが飛ばず、かなりハードなスポーツである事が分かり、えらい所に入部したものだと思っ悔しました。

しかし、先輩達に励まされ何となく今日に至り、試合と聞けば進んで参加出来る様になりました。バドミントンを通じて一番の収穫は、多くの友達を得た事です。

子供が卒業した後は、公民館の方で続けていくつもりです。皆様一緒にしませんか。

あなたも地区体育祭で 走ってみませんか!

新千里東町二十五 A7-305

赤井 直

公民分館で何かしら、地区体育祭とはどんなものなのか、全く知らずにPTAから派遣されてお手伝いしたのが、九年前でした。賞品係となり、準備の大へんさにも驚きましたが、当日のテンテコ舞にはもうびっくり、決勝ラインでの着順判定のむづかしさ、三着と四着では内容がすっかり変わるため、本気で苦情を云ってくる人や、ずい分前に終わったレースの参加賞をもらっていないかと取りに来る人など様々でした。この行事参加が私と東町全体とのかかわりの始まりでした。それまでは限定された範囲でのことでしたから。今日までどこでどうなるのか毎年お手伝いさせていただいています。年々内容も充実していくのですが、競技参加者が限られてきてどのレースにも出場する方と、全く出場しない人とに別れてしまっている様です。

一着、二着、三着も大切ですが、多くの人が参加し、楽しく親睦を深める目的をもつとすれば等外賞品と、そうでないものとの格差を縮めて、競技の内容も普段運動しない人が気軽に参加出来る様に出来ないから。テニスをしていなくても、ジョギングやエアロビックをしていない人でも、この日は体育の秋を楽しめて運動(?)に自分から行動を起せる様にならないから、こんな勝手なことは一日中放送席から見ている者だから云えることなのでしょうね。



フトン運び

上平 真由美

エッ、フトン運び? フウインノ、フトン屋さんのCMかと思いきや引受ける。当日、びっくり日本新記録の横断幕を見て、おどろいた。テレビに放送されるって、午前中に健康状態を検査する。

そして競技の説明を聞きながらコースの下見……。公民館の人や地区の人が激励して下さり、出るからにはと心に決め頑張ろうと思う。

午後一時、スタートラインに並ぶ。廻りを見ると、10代、20代の若い人ばかりだ。フトンの重さは10kg、走る距離は1.7km、スタート……ゼッケンは19番である。一つ一ついいねいに包む。しっかり結ばなくては、

一度背負って走るが、うまく行かない。ゆるんできたのもう一度、いやもう一度としている内に中央公園を出たのは最後の方だった。一人二人と抜いて行く、きつい登り坂にきたら前の人は少し疲れているようだ。山登りを思い出し、荷物を少しかして登って行く。中間地点になると、二人、前にいる。「もう一人や」と思っただけで走る。又ゆるんできた。一度降ろして結び直す。さあ、もう一ふんばり、子供が「おぼちゃんガンバレノ下り坂やもつと早く早く」と応援してくれる。「OK」と威勢はいいが、フトンが肩にくいこんでくるので、しんどいなあ。商店街通りにきた、ちょっとすまして頑張る。2位3位と言っているのが聞える。アカシヤ橋にきて前の人をぬかす。安場橋を渡る所で、息子が「お母さん2位やノ絶対2位やノ」と言っている。やっぱりもう一人居たんやなあ。残念……。タイムは13分56秒、登山よりも疲れ

た。公民館の人達はすごく喜んでくれてうれしかった。いっしょに走った田中さんと手を取って喜び合う。若い人達といっしょに走って、自分も同じ年代の様な気がして楽しい一日でした。

ごあいさし

豊中市立東丘小学校

教頭 山脇 良雄

この度、東丘小学校教頭に補されました山脇です。本校は創立十八周年を迎え、豊中市内では歴史は浅いが、地域との連携も深く、学校と地域社会が一体となって児童の健全育成に努力されており、大変心強く感じています。また、環境も緑が多く学校周辺には千里

中央公園と深谷公園があり、学校教育活動にまた地域の文化活動には絶好の環境にあり、豊中市四〇小学校の中で、これ程整った校区は他にあるでしょうか。思いきりバットをふって野球のできる公園があるでしょうか。

去る四月九日の始業式に転任の挨拶で児童たちに「人に会ったら挨拶をしましょう」と呼びかけましたところ、毎朝元氣な明るい挨拶が実行され、本校児童の礼儀正しさに感動し、これからの教育活動に意欲を燃やしている次第です。

「教育は人と人との人間関係が円滑に深まってこそ可能になる」と言われるように、学級内での児童相互の人間関係、児童と教師の人間関係、教師相互の人間関係、教師と保護者、学校と地域社会との人間関係が子どもたちの教育を支えるものだと思っております。

児童たちは、家庭と学校だけでは育たないのであり、地域社会の温かい支えがあってこそ、ともすれば、はみ出しそうな子どもがいても素直に成長するのだと信じております。

次代を担う子どもたちを立派に成長する環境を醸成することは、親や教師たちだけでなく全ての大人の責務だと信じています。そのためには、学校と地域社会が手を取り合って明るい町づくりを推進したいと思っております。

自転車・じてんしゃ ・ジテンシャ

新千里東町三一七 A35—207

島 谷 陽 子

とき、まさに五月、みどりのプロムナードを千中へ……。

東町テニスコートをすぎ、深谷公園のはずれをゆき

すぎると、そこはもう、自転車・じてんしゃ・ジテンシャ。

「自転車・バイク等の駐車は禁止」の白く新しい立看板のまわりにも、古ぼけた看板の前にも、自転車・じてんしゃ。

雨上りの五月十七日、午後三時半、自転車たちは植込みよりあふれて長谷南橋上にも進出。かぞえるに橋の片側だけで大小合せて34台、単車（原付を含む）7台。

これはもはや、放置組と管理組とのイタチごっこである。

このイタチごっこ、いったい、いつまで続くのかなあ……。



放置組にとっては恰好の場所、日常生活に欠かすことの出来ない場所なのです。

警察は順法のため……と。よく分ります。

市・公園緑地課は、みどりの保護、景観保持……と。でも、いっそのこと「きちんと順に整理して置きましょう。」と自転車置場をここに作って下さい……。なんて提言したら一体どんなさわぎがまき起るのでしょうか。

いずれにしてもこの現状、ご視察の上、ぜひぜひ、ご一考を……。

「地域の子供は地域の 大人が守りましょう」

豊中市青少年指導ルーム

指導員 高橋 禎子

子供達の歓声が聞こえてくるようですが、お子様の行先をご存じですか。あぶない池や川に行ってはいないでしょうか。親と子の話し合いの場、暖かい家庭、つくり各御家庭では、どのように、お持ちでしょうか。

豊中市青少年指導ルームでは

「輪をひろげよう、地域ぐるみで、心と環境の浄化」を、目標とし

東丘校区では、「千里中央公園」や「東町公園（深谷池）」が、老若男女の憩える場としての、魅力ある公園づくりを推し進め、又、繁華街での小中学生への「愛の一声」を通じ「地域のおばちゃん」として、小中学校での「あいさつ運動」をふまえ、気軽に声をかけ、かけられるようにと願っています。今、非行のワースト・スリーは、一、万引 二、自転車・単車盗三、家出 と云われています。

豊中市青少年指導ルームは、昭和四十二年「青少年

の非行化防止と健全育成を目的」として、設置され、指導員として、街頭指導、危険箇所の発見、関係機関への報告と夏休み、冬休み等の広報活動、青少年相談定例連絡会指導員全体の情報交換や各種研究会出席、関係機関との連携(地域の小中学校PTA生活指導部、補導推進会推進委員、防犯協議会、公民分館等)を深め、暖かく、心の通いあう家庭と、地域の大人が手をつなぎ、未来をなう青少年の健やかな成長を願い、良い環境の中で、子供達を見守っていききたいと、今日も巡視を続けて居ります。

めぐりめぐり

運営委員長 今井 澄真子

初夏のおとずれとともに東丘公民分館も活発に活動を開始致しました。

昨年初代運営委員長をお受けして一年間、無事大役をつとめさせて頂きましたのも皆様のお蔭と感謝致しております。初めに厚くお礼を申し上げます。毎回広報委員の方から原稿の依頼があり、その都度執筆能力の貧困さを痛感しております。

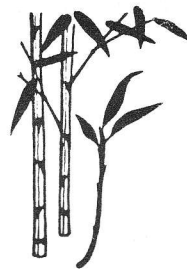
分館活動の一年間を振り返ってみますと、十数年前に比べ昔日の感があります。夏の盆おどり大会、敬老の集い、地区体育祭、社会見学等々、種々の活動は勿論、内容的にも年々充実して参りましたのも、各住区の自治会及び各種団体の積極的なご協力があったからこそとおもいます。分館活動に参加して、沢山の人と巡り会えたことも私にとって嬉しい限りです。

ちょっとキザですが、私の好きな詩に『二度とない人生だから露草の露にも巡り会いの不思議を思っ心をとどめてみつめて行こう』という言葉があります。人生は常に出合いの連続であり本当に良き人に出合い、良き書物に出合い、良き環境に出合っこれた人

は実に幸福な人ではないかと思えます。その意味では地域活動に参加することは、それだけ人生のかかわりが深くなり、良い面、気にいらぬ面もありますが自身の中で咀嚼して幸福につなげていきたいものです。本年も東丘公民分館に深いご理解とご協力をお願い致しますと共に、一人でも多くの方のご参加をお待ち申し上げます。

“緑”

— 雑感 —



新千里東町二一五 A2-305

芝原 広子

先日、「住めば都」の千里ニュータウンという見出しで、住民意識調査の結果が新聞に報道されていた。(毎日・5・26付)

今の街に住み続けたいと答えた人が、成人の70%、子供の68%で、その理由のトップに「緑や公園など住宅まわりの環境が良い」とあり、子供たちで、昆虫や生物との触れあいがあると答えたのは、ニュータウン内58%に対し外は34%と、ニュータウンの子供の方が自然によく接しているとの調査結果でした。

まったく同感で、私も子供と一緒に早春にはつくしんぼを捜し、桜ふぶきに歓声をあげ、秋には落葉やどんぐりをひろい集め、四季折々を楽しんでいます。今も、窓の外は新緑と、ことりのさえずりにあふれています。

それにつけても、この街の緑の中心地千里中央公園が、犯罪多発地域という事で、長年子供たちが自由に遊びに行けないのが残念です。なんとかしてほしいという声をあちこちで耳にします。市の方でも、中央

公園の安場地の再開発などが検討されているとの事、この機会に、みんなが安心して楽しめる公園にしてほしいものです。人工的でなく、起伏に富んだ現在の中央公園の良さを生かしながら、よりよい緑のオアシスになるように望みます。それも、各団体の代表だけでなく、公団を愛する沢山の人の、卒直な要望を反映できるような形で、中央公園の再利用をすすめてほしいと願う今日この頃です。

文教担当 杉村 芳子

昨年も春の講座に始まり社会見学(六甲方面)秋の講座、お正月になると将棋大会等、けっこう親睦がはかれ、たのしいこと勉強になることなど日頃親しむ機会がない私達にとっては成果があったように思います。受講された方からは隣近所学校関係のお友達以外のお友達ができた、とても喜んでもらっています。公民館行事の講座は何か習おうと思う時に一寸入って勉強するよい動機じゃないでしょうか、娘時代にやったけれど又やりたいとか、一度自分のためにためしてみたかった等様々ですが、ともかく昔とちがって豊中市の広報紙に記載されている一覧表を見ることにより手近なところで自分に合ったものが学べるという特典があるという事です。今やカルチャー時代ですが、私達の囲りには沢山そう言う会が催されています。何にも高いお金を払ったからとは限りません。目的に達せられ修得した時自分が満足するのです。

そんなわけで初めは訳がわからずという感じでしたが、担当者一同一致団結して和気あいあいのうちに終わったということです。三千世帯のこの東町には文化祭のようなものはありません。文化都市千里の名に恥じない丈の要素があると思います。今の子供が大きく成った時など故郷のことを思う時、どんなに思うでしょうか。

会長となつて

新千里東町三十三自治会

会長 依岡 千明

私が会長を引受けるまでの経緯は色々あったようであるが、私の知らない所での出来事であり、いづれにしろ何人かの人が、私に会長を引受けてくれるよう勧めるものだから逃げ場を失ってしまつて引受ける事となった。私は今日迄、引込み思案な性格であり、人前に出るようなことは避けて通つて来たのだが、ウジウジと逃げて回る生き方も良くないと考え、一ツやってみるか、で引受けた。受けてみて大変な重責であることを感じないわけにはいかない。

今、諸先輩方の教えの通り、行事を消化している内に、何やら自治会の活動や、在り方が少しわかりかけて来たような気がする。

一通り理解出来た頃には任期は満了するであろうが、一日も早く自分のものとして、自分流の自治会活動を推進すべく自治会の組織の中に居る多くの部長諸氏と日夜ミーティングを重ね、又多くの部長に役所や公社に足を運んで頂いて、諸問題の交渉に当つてもらつてゐるのである。内心申し訳けない気持ではあるが、お互い自分から進んで飛込んだ人は居ない。クジ運が悪く引受けざるを得なかつた方達ばかりである。従つて諦めて、働いてもらうしかないだろう。そうして皆んなが力を一ツにして働けば、一年のしかも自治会活動に費やせる時間は更に短い時間となるのではあるが、短い時間の積重ねが大切だと思つてゐる。

その中から得たものが大きく発展して行くことを望んでいるのだが、そこまで自分の力が及ぶかどうか、又多くの人々の協力を得られるかどうか、心淋しい次第であるが、解決したい問題や取組みたい事が眼の前

に山積していることだけは事実である。多くは出来ないうらうが一つ一つ手掛けて行こうと考えている最中に、会長を受けたことにより半自動的に他の団体役員まで仰せつかることとなつてしまつた。

私の意志など取り上げてもらえない内に自動的に取り極められている不条理を感じながらも、仲良くやって行かなければならないと考えている。

私はまず自分の街の環境整備から又、住区民の親善等少しでも明るく住み良い街が出来るよう力を貸すことが出来ればよいと考えているのであるが、まずは「自分の頭の上のハエが追えない奴に他人の事が出来るか？」と思うのである。従つて私は自治会活動に全力を注ぐことで、他の役員としての活動が怠慢となることが起きないとも限らないことを、この場をお借りしお詫び致します。

千里の住民になつて

新千里東町二一七 C6-309

柳谷 貴代美

私達家族が千里に引越して来て二年が過ぎ、最初は塚本で一人目の子が生れて、二人目を妊娠して十月月目に入った頃に二十回申し込んでいた公団住宅空家募集に当選して二念願の団地族の仲間入りをし、服部団地に入りました。一番困つたのは、あまりにも飛行機の音が大きく、上の子が砂場で遊んでいても、音にびつくりして私の足元にしがみつくほどでした。毎日楽しく過していました。年に四回ある募集には必ず申し込みをしては、はずれていました。甲子園の方を申し込んでいたのですが当たらず、初めて千里の方を申し込んだところ、一回目で当選してびつくりしました。色々考えたところ、3DKで駅は近く緑は多い。

随筆

新千里東町三二七 A32-403

西田 捷子

これからも頑張ります

弁当を作り続けて十三年目になる。主人の胃潰瘍がきっかけであった。私自身勤めながらの作業であった。休日は常備菜、漬物、冷凍食品作りに、それは、それは、忙しく働き、月曜日までその疲れは、持ち越したものであった。必ずおかずは五、六品位入れ、栄養のバランスと色どりに気を配り、弁当を開いた時の楽しみを思い浮かべながらの朝の弁当作りである。

夕食の支度をしながら弁当のおかずを二、三品一緒に作ると、朝の作業は短縮される。たまのデラックス料理の時は、とり分けて冷凍し、忘れたころ登場させて、主人を驚かせたり、又、手作りのケーキを持たせて、女子社員に差し上げたこともあった。

しかし、ある時、主人は「弁当を持っていかない」と言い出したのである。「えっ、どうして」「昼食はいつも一人だというのである。それに、昼休みが仲々となくなつたとのことで、やむをえず、私は同意した。主人にしてやれる毎日の確かな証明であった。これで夫婦の絆が切れたような悲しみに似た気持であった。それから間もなく、息子が中学校に入った。主人の時とは別に親の義務感を持ち今まで同様、朝の作業は続けている。

中学校入学の説明会の際、校長先生が「必ずお母さんの手作りの弁当を持たせて下さい」とおっしゃられた言葉が忘れられないでいる。毎日ドカベンを持たせているが、みんな残さず食べて来てくれる。息子が巣立っていくまで、作り続けたい。息子と私の絆が、いつまでも続くように願って。

コミュニケーション

団地の役員になって二ヶ月になる。それまで勤めにしていたためほとんど近所の付き合いはなく、朝晩の挨拶を交わすくらいであった。会社と家の往復だけ、忙しいからといえはそれまでであったが、付き合いのない方が煩わしさから逃れられる。これ以上行動範囲が広がらなれば、疲れるだけだと決めていたのであった。子供の件で友達の母親から、ある事で依頼の電話があった時等、勤めているので時間がないと、冷たく断り続けて来たのであった。

しかし、今回この仕事をするはめになった。ゼロからの出発であったが、知り合いがこんなに少なかったかを、悲しくも思い始めて来た。役員の皆さんは、何かの形で顔馴染みのようで話し合いがあった。何度か皆さんとお逢いしていくうち、話し合うことが楽しく思えて来た。この仕事で各々の家庭を訪問したり、電話を多く受ける機会がある。色々な応対により、人の

心が少し見えて来た。又自分も見えて来たようであった。人と人のコミュニケーションによって、社会がなりたっていることを知る。この重要性、自分もこの一員であったことを。いかに世間に疎い人間であったことを。

先日、私共団地の草むしりがあり、各々の家の人が出て下さった。主人が草むしりを終えて「良い運動になった。こんな機会に皆と顔を合わせることもできるしなあ」と言って帰って来たのを、私は温かいほほのほのとした気持で聞いた。

役員になってコミュニケーションの重要性を今知った自分が恥しく思う次第である。

「かじる」

新千里東町二七 C21-102

城島 日娑世

公民館の「手話入門講座」に参加した。

勉強は超特急の上、一人つつやられるので、覚えの悪い私には大変である。でも火曜日が楽しみだし、人数も増え、その関心度には正直、驚いている。

と言うのは、手話は障害者を相手のものだし、敬遠されるのでは、委員で申込書を埋めなくてはならないのでは、と不安があった。それに「かじるだけ」と言われ、抵抗も覚えていた。障害者問題に興味本位、遊びの感覚で関わってはしくなかつたし、私の今迄の経験で、かじっただけで理解したような、自己満足型が多い事も、素直になれない一因だった。

今は違う。何事もかじらないでは判らない。かじって深さを知れば視野も広がる。関心は字の通り大切な入口であると。

しかし疑問もある。読唇法、筆談、コンピュータの手話通訳機が出現する今、この手がどれ程必要か、否か。それに手話は相手が習得しなくては通じない。障害者関係の会合も多い私だが、対府(市)交渉などでは手話とスライド文字の両方で通訳していた。又、聴けなくても話ができる人もある。娘が受講している手話講座の先生もそうだ。

入門したばかりの私が、人の役に立つには遠い道程だが、「かじった」からには頑張る。

最後に。指文字で表わすのに親指を折って「欠損」の「ケ」人差指を曲げて「盗人」の「ヌ」。通用語かも知れないが、人権協の委員も「かじって」いる私には、好きになれない「ことば」である。

昭和58年度公民分館予算案

東丘公民分館

費目	収入	費目	支出
前年度繰越金	5,588	歩こう会	5,000
助成金	200,000	体育祭	50,588
		社会見学	40,000
		スポーツ大会	32,000
		文化祭	10,000
		囲碁・将棋大会	18,000
		広報活動	50,000
合計	205,588	合計	205,588

改正マンション法

と人権

桜ヶ丘

延原博

新しい団地のゴースト・タウン化は、建設の当初から心配された問題であり、現在、百万戸を越すマンションは資産どころか、粗大ゴミになる恐れすらあるという学者もあるくらいである。

マンション法が二十年振りに改正され、来る一月一日から発足の運びだが、これは当初からの課題に解答を与えるもの。あたかも、この新マンション法に照応するかのよう、西宮市の公団マンションがかなりの耐用年数を残して建替えを決めた。この分譲団地は中層住宅を高層マンションに改築、竣工すれば区分所有者の現在の住居面積は約二倍になり、しかも余った部分を売却した収益金で、建築費をまかなうため費用の一切を負担しなすむという、無償再開発方式をとっている。この方式は、老朽化するマンションの今後の指針として、全国的に注目されている。

三十七年に制定された現行法は、居住者の全員一致が原則であったため管理、改善その他何をするにも、全く動きのとれないものになっていった。これに対し新法の骨子は▽居住者の五分の四以上の集会決議で建物の建替えができる▽規約改正や共有部分の変更は四分の三以上の賛成決議でできる▽重大な義務違反者は、四分の三以上の賛成と訴訟手続きによって排除することができるといふもの。四十年前後から急激に増え始めたマンションもすでに全国で百万戸を超え、老朽

化にともないその修理や管理が深刻な問題になっているため、管理運営をスムーズにするねらいである。

しかし、その新法の実施にあたって多くの問題点が指摘されている。最近の住民の意識調査によれば、環境や交通の便のよさがふるさと意識を定着させつつあるということであり、その通りだと思う。だが現実には私の住んでいる団地でも仮の住居と考えている人が少なくない。永住志向の人でも老朽化すれば買い替えを考える人が多いだろう。これまでの十年の間に四割が移動したが、私の知人のマンションでは約七割の人が入れ替ったという。今後十年、二十年も経てば老人世帯ばかりが増える心配もある。さらに、所有者の賃貸ししたり、住居以外の目的に使われているものも増えている。このような実情を考えると、将来、建替えの時期が来た時に容易に五分の四の賛成者を確保することができようか。そして建替え決議に成功した場合、賛成しなかった区分所有者の利益をどのようにして保護するのか。管理組合は法律による手続きをとることによって、建替えに応じない人の区分所有権と敷地利用権を、時価で売渡しを行わせることができるが、現実に弱い立場の人たちにそんなことができるだろうか。

現在、マンションの管理運営を自治会が行っている所が多い。新法のスタートにともない管理組合は、特殊公益法人として独立することになり、それに応じた組合規約の改正を迫られることになるが、任務の重さからみて、居住者の自立管理に任せることに、無理があるのではないだろうか、疑問をもたざるを得ないのである。私の杞憂であれば幸いである。



授業参観に思う

去る日、我が子の授業参観があった。

新学期になって、新クラス、担任の先生が代わられた。

期待心はずませて、出かけたものであった。生徒玄関でハッと気がついた。子供に新クラスの場合を聞いていなかったのである。その時一人の父兄が事務員らしい女性に「二年生はこの校舎でしょうか。」と聞かれていたので、私もその問いに耳をやった。「職員室に貼っています」とつっけんどんな話ぶり、職員室を捜したのだが分からずじまいで、一階、二階、三階と我が子のクラスを捜した。同様、大勢の父兄が捜しながら不安と、焦りの気持から、お互に「〇年〇組はどこか知りませんか」と問い合っている姿であった。

先生らしい方が通られたらお聞きしようと、回りを見まわしたがもう授業が始まっているせいか、姿にお逢いできない。

それから数十分、我が子の姿を発見し、ホッとしたのである。汗びっしょりであった。下調べしていかなかった私が悪かった。しかし、小学校とは別格な雰囲気。足が遠のく気持をおさえ、我が子の姿を、の思いで出かける私共父兄である。その日だけでも、玄関に大きく、分かりやすい配置図があつて欲しかった。誰しもがそう感じたのは確かである。

捜している途中、あるクラスに配置図が貼つてあったが、一年、二年、三年と書いてあるだけで、クラス名が入っていないかった。まったくもって、不親切としか言いようがない。常に訪ねる所ではないし、忘れやすい私共父兄にもう少し心配りを、お願いしたいものである。

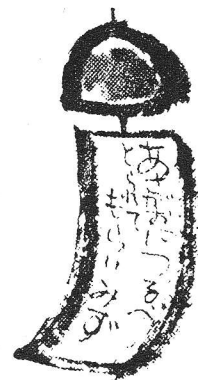
昭和58年度東丘公民分館役員名簿

分館長	植木 克己	B 2-205	832-3428	東 町	幹 事◎中野 進	A 23-202	831-2388	深谷第二
副分館長	太子 勝	B 13-410	831-0706	東 町	(文教委員会) 溜尾 庫平	A 20-103	831-8282	深谷第一
副分館長	中村 正子	A 22-206	833-7735	深谷第一	大矢 寛治	A 27-208	871-0536	深谷第二
主 事	米田 道子	C 29-109	833-0135	公 団	山本 映	A 42-306	872-6534	深谷第三
主事補	北島 澄子	A 31-203	831-6231	あかしや	北島 清光	A 31-203	831-6231	あかしや
会計監査	石丸 誠子	B 2-408	831-7911	東 町	米谷 昭	A 30-103	831-6220	あかしや
運営委員長	今井澄真子	A 39-204	832-1949	民 生	上堂美千代	A 15-401	831-7257	ガールスカウト
副運営委員長	辻村 明峻	D 3-404	833-1610	メゾン社協	(体育委員会)◎小野 太平	A 41-204	832-4307	八中 P T A
書 記	真野 廷子	A 34-304	831-5906	人 権 協	谷口美代子	A 13-310	831-2023	公 社
運営委員	日野純次郎	A 12-203	833-6998	桜 丘	石本 利子	A 15-304	831-9151	公 社
	木下 順一	A 15-202	832-3224	公 社	渡辺 勝利	B 13-306	833-1534	東 町
	仙田 良二	A 21-107	872-1453	深谷第一	健 一	B 11-208	834-6104	東 町
	松永 四郎	A 24-202	832-7755	深谷第二	山本 徳男	B 4-607	834-0844	東 町
	須澤 利明	A 41-207	833-1119	深谷第三	大東 浅和	C 18-107	831-2314	公 団
	木村 栄一	A 39-203	831-6264	あかしや	斉藤 俊子	C 26-307	834-2772	公 団
	岡谷 敏	A 34-301	831-5980	東 丘	児島 慶子	C 26-108	834-3286	公 団
	依岡 千明	B 14-208	832-3467	東 町	小笠原菊子	C 27-607	833-5576	公 団
	斉藤 勇	B 4-510	872-9489	東 町	丹羽 通修	3-6-113	872-2616	商 店 会
	福岡 鈴子	C 26-204	833-7705	公 団	丸山 智子	A 39-302	831-0549	東丘小 P T A
	中川 清	C 15-106	831-5805	公 団	平野弥太郎	C 29-206	832-3891	防 犯
	堀上 三郎	3-6-118	872-2620	商 店 会	鷹葉 綾子	A 15-305	872-0337	東丘体協
	赤井 直	A 7-305	832-4589	東丘小 P T A	田口 弘美	A 24-207	833-5808	アソカ幼稚園
	小野 太平	A 41-204	832-4307	八中 P T A	(広報委員会)◎阪本 治幸	B 20-104	872-2026	防 犯
	西村 桂一	B 6-208	831-6655	民 生	延原 博	A 6-308	872-5545	桜 丘
	梅沢二三男	A 1-501	872-4375	防 犯	西田 英彦	A 32-403	833-7118	東 丘
	大橋 桂子	C 27-303	832-7906	東丘体協	三好 政幸	A 33-105	831-3587	東 丘
	牧野世紀子	C 5-109	831-5053	ガールスカウト	岡本 洋子	D 6-206	832-2683	メゾン
	松田 啓子	A 26-205	871-1092	アソカ幼稚園	城島口婆世	C 21-102	832-4689	人 権 協
	柳谷貴代美	C 6-309	832-0930	東丘保育所	顧 問 牧井 至誠		872-0331	東丘小校長
					丸山十一郎		872-0552	八中校長

昭和58年度公民分館事業計画

東丘公民分館

月 別	実 施 内 容
8/20・21	盆おどり(共催)
9月	敬老の集い(後援)
10/16	地区体育祭
10月	社会見学
10月	秋期講座
11月	地区親善ソフトボール大会
11月	文化祭
1月	閉基・将棋大会
6月・12月	分館だより発行



編 集 後 記

分館広報紙「第二十二号」を、お届けします。
 今年度も多彩な行事が予定されて居りますので、皆
 様方の御協力を仰ぐことに成りますが、大きな輪にな
 って東丘校区の皆様方と共に、公民分館活動に「アド
 バイス」して頂ける様によりしくお願いいたします。

広報委員一同